

上松木内・松木内地区の市県民税申告相談 中止に伴う振替日程について

【問合せ】税務課(田沢湖庁舎) ☎(43)11117

職員の新型コロナウイルス感染症の感染により中止した申告相談の振替日程を次のとおりとします。お知らせします。

なお、すでにお知らせしている、3月15日までの角館交流センターで申告相談していただいてもかまいません。

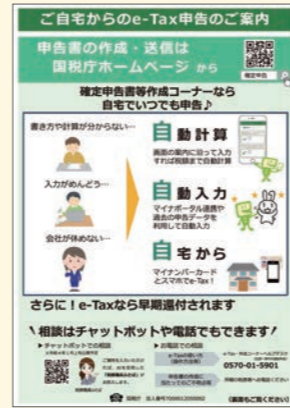
■両地区共通事項

番号札は**8時15分**から配布します。「午前の部」の番号札がなく、次期「午後の部」の番号札を配布します。
※先着順で配布することをご了承ください。
※正午から13時までは申告相談を実施しません。
※ご迷惑をおかけして、大変申し訳ありませんでした。

●日時・制限人数

地区会場	変更前	変更後
松木内	▶ 2月21日(月) 9時から16時まで (午前75人・午後65人)	▶ 3月17日(木) 9時から16時まで (午前75人・午後65人)
松木内地区公民館	▶ 2月22日(火) 9時から11時45分まで (午前70人)	▶ 3月18日(金) 9時から11時45分まで (午前70人)
上松木内 紙風船館	▶ 2月18日(金) 9時から15時まで (午前60人・午後40人)	▶ 3月22日(火) 9時から15時まで (午前60人・午後40人)

e-Taxをぜひご利用ください!
申告相談の手続きを効率的に行えるよう「e-Tax(電子申告)」の利用を推進しています。



詳しくは国税庁ホームページ (<https://www.e-tax.nta.go.jp/>) をご確認ください。



市県民税申告期限の延長について

【問合せ】税務課(田沢湖庁舎) ☎(43)11117

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため3月15日(火)まで申告できない方について、市県民税の申告期限を4月15日(金)まで延長します。
3月23日(水)からは会場を**田沢湖庁舎に限定して予約制**で申告相談を受け付けます。
3月23日以降に申告したい方は**あらかじめ税務課に電話予約**してからお越しください。

●期間 / 3月23日(水)～4月15日(金)
※土・日曜日は実施しません。
●時間 / 午前の部：9時～12時
午後の部：13時～16時
●相談場所 / 税務課(田沢湖庁舎)
●その他 / これまでの申告相談会と同様にマスクを着用してご来場ください。また、会場での手指消毒と検温にご協力をお願いします。

会計年度任用職員を募集します

【問合せ】企画政策課(田沢湖庁舎) ☎(43)11112

田沢湖クニマス未来館
●募集職種 / 事務補助など(パートタイム)
●募集人数 / 4人
●採用日 / 4月1日(金)
●募集期限 / 3月10日(木)17時

●申込方法 / ハローワークからの紹介状と履歴書を企画政策課へご持参ください(郵送可)。
●選考方法 / 面接
●面接予定日 / 3月15日(火)
※募集の詳細はハローワークでご確認ください。

会計年度任用職員を募集します

【問合せ】包括支援センター(角館庁舎) ☎(43)22883

包括支援センター
●募集職種・業務内容
①生活支援コーディネーター：包括支援センターの職員と協力し、地域づくりをすすめる
②認知症地域支援推進員：認知症の方やその家族の相談支援
●募集人数 / 各1人
●募集要件 /
①パソコン操作(エクセル・ワード)のできる方、介護支援専門員の資格があれば尚可

②社会福祉主事などの資格を有する方
●雇用期間 / 4月1日(金)～令和5年3月31日(金)
●勤務時間 / 9時15分～17時15分
●申込方法 / ハローワークからの紹介状と履歴書を包括支援センターへご持参ください(郵送不可)。
●募集期限 / 3月8日(火)17時
●選考方法 / 書類選考および面接
※令和4年度の予算の議決が得られなかった場合、募集内容が変更になる可能性があります。

北部ごみ処理センターからのお知らせ

一般廃棄物最終処分場の受入れ休止のお知らせ

【問合せ】大曲仙北広域市町村圏組合環境事業課 北部ごみ処理センター ☎(54)33055

(田沢湖・角館・西木)一般廃棄物最終処分場の計量システムの保守点検を次の日程で行います。
作業中はごみの受入れを休止しますので、作業時間を避けるか、ほかの処分場をご利用ください。
ご不便をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。

●作業日程 /
▶ 田沢湖一般廃棄物最終処分場：3月17日(木)12時～16時30分
▶ 角館一般廃棄物最終処分場：3月18日(金)8時30分～12時
▶ 西木一般廃棄物最終処分場：3月18日(金)12時～16時30分

会計年度任用職員を募集します

【問合せ】社会福祉課(角館庁舎) ☎(43)22884

社会福祉課
●募集職種 / 相談支援員
●業務内容 / 生活が困難している方の相談支援業務および事務補助
●募集人数 / 1人
●募集要件 / パソコン操作(エクセル・ワード)のできる方、社会福祉士または社会福祉主事の資格がある方
●雇用期間 / 4月1日(金)～令和5年3月31日(金)(土・日曜日、祝日を除く)

●勤務時間 / 8時45分～16時45分
●申込方法 / ハローワークからの紹介状と履歴書を社会福祉課へご持参ください(郵送不可)。
●募集期限 / 3月8日(火)17時
※応募者多数の場合は、事前に募集を締め切る場合があります。
●選考方法 / 書類選考および面接
※令和4年度の予算の議決が得られなかった場合、募集内容が変更になる可能性があります。

〈対象世帯を拡大します〉 火災警報器を無償で設置します

【問合せ】総合防災課(田沢湖庁舎) ☎(43)11115

仙北市では、住宅用火災警報器を無償で設置する事業を実施しています。

予防指導などを行います。設置場所は寝室・階段の上のいずれかになります。

●対象者 / 自宅に住宅用火災警報器を設置していない場合で
75歳以上の世帯
75歳以上の高齢者と暮らしている世帯
●要介護者などと暮らしている世帯
※対象者の詳細についてはお問い合わせください。

●申込期間 / 3月1日(火)～31日(木)まで(土・日曜日、祝日を除く)
●申込先 / 総合防災課(田沢湖庁舎2階) ☎4311115
●住宅用火災警報器とは…
火事の熱や煙を感じ、鳴動する火災警報器です。感知すると音声やブザー音で知らせますので、早期に火災を発見して消火や避難することで、命や財産を守ることが出来ます。

●設置について / 対象者の申し込みにより、仙北市消防団員・総合防災課職員が自宅に訪問して、住宅用火災警報器の設置とともに火災



住民税非課税世帯・家計急変世帯への臨時特別給付金について

【問合せ】社会福祉課（角館庁舎） ☎（43）2288

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、様々な困難に直面した方々へ、速やかに生活・暮らしの支援を行う観点から、住民税非課税世帯・家計急変世帯に対して一世帯あたり10万円を支給します。

① 住民税非課税世帯

支給対象となる世帯／基準日（令和3年12月10日）において世帯全員の令和3年度分の住民税均等割が非課税である世帯
●申請方法
▶申請書類を送付しています：対象となる世帯には2月中旬に「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金支給要件確認書」を送付済みです。

△要件に該当し、まだお手元に確認書が届いていない場合は、社会福祉課（☎43-2288）までご連絡ください。

▶口座番号を確認：…確認書には令和2年度に実施した定額給付金で申請いただいた振込口座が印字されていますのでご確認ください。（口座情報がない場合は空欄です）。

▶確認書に記入・返送：…必要事項を記入・確認後に同封した返

信用封筒で社会福祉課までご返送ください。
△確認書に「世帯主の方が記入して下さい。」の欄があります。必ずお読みいただき、記入漏れがないようにお願いします。

▶申請期間は：…確認書発送日から3か月間です。

●注意事項

▶住民税の申告がお済みでない方で、課税相当の収入がある方が世帯の中にいる場合は、対象外です。その場合は、確認書を送付しないようお願いいたします。

▶給付金の支給後、支給要件に該当しないことが判明した場合には、給付金を返還していただく必要があります。

▶給付の対象となるのは、基準日（令和3年12月10日）現在の世帯になります。したがって、12月11日以後に同じ住所において別世帯とする世帯の分離の届出があったときでも、同じ世帯とみなされます。世帯の分離後のいずれかの世帯が給付金を受給した場合は、もう一方の世帯は給付金を受け取ることができません。

▶修正申告などにより令和3年度住民税が課税から均等割非課税になった場合は、社会福祉課までご連絡ください。

② 家計急変世帯

支給対象となる世帯／①の住民税非課税世帯には該当しないが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、住民税非課税世帯と同様の事情にあると認められる世帯
●申請方法
▶対象になるか確認：…令和3年1月以降、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収入が減少し、令和3年度分の住民税均等割が課税されている世帯員全員のそれぞれの年収見込額が、住民税均等割非課税相当水準以下の世帯の方が給付金の対象となります。

●申請が必要ですが、対象に当てはまる場合は、申請が必要となります。申請書類は社会福祉課（角館庁舎1階）、または仙北市ホームページ（https://www.city.semboku.akita.jp/news_topics/whatsnew.php?id=3137）からダウンロードできます。

▶申請期限は：…9月30日（金）までです。

▶住民税非課税世帯への給付と重複給付はできませんので、ご注意ください。

2021 観光甲子園 角館高校生徒が仙北市の魅力を動画で紹介



角館高校の制作した動画は2月6日に開催された決勝大会の様子は上記のQRコード（観光甲子園ホームページ）からご覧いただけます。

高校生が観光課題の解決策を考える探究型学習を行い、成果として制作した180秒の観光動画の出来栄を競う「観光甲子園」。このほど角館高校の3年生「チーム仙北」が決勝大会に出場し、仙北市内の自然や食、伝統工芸品などを動画を通じて全国に紹介しました。

同大会は、「日本遺産部門」と「SDGs 修学旅行部門」からなり、同校はSDGs 修学旅行部門に出場。全国335チームの中から書類審査による予選を通過し20チームによる準決勝に進出しました。

同部門のテーマは修学旅行プランをSDGs 思考の体験型メニューで企画するというもの。準決勝に向けて同校ビジネス情報コースの武藤美咲さん、佐藤花楓さん、真崎弘斗さん、永山士温さん、高橋直さんの5人は「未来、僕らは刻を生き来よう」と題して、仙北市に来てよかったと思ってもらいたい、大人になつてまた来たいと思ってもらいたい、そんな思いを込めて動画を制作しました。

動画では、武家屋敷通りや新玉川温泉など市内のスポットの

ほか、樺細工の伝統工芸士さんやわらび座の役者さんのインタビューも紹介。5人が伝えたい仙北市の魅力がたくさん詰まったものになりました。

動画制作は初めてで構成から取材依頼の連絡、撮影、編集などすべて自分たちの手で行い、完成までにはおよそ6か月かかったそうです。リーダーの武藤さんは「時期的にカヌーなど撮影できなかった部分もあり心残りはあるが、満足のいく動画ができた」と話します。また、見た人が飽きないように説明は最小限にして映像で伝えるように工夫した」と真崎さん。制作した動画は、見事準決勝を勝ち抜き、5チームによる決勝大会への出場を果たしました。

2月6日にオンラインで行われた決勝大会は、準決勝の動画に加えて制作過程を紹介する5分の動画も審査の対象に。惜しくも入賞とはなりませんでしたが、仙北市の魅力を多くの人に伝えようとプレゼンテーションしました。

動画制作を通じて、仙北市の魅力にふれた5人。佐藤さんは「登下校でいつも見ている武家屋



前列左から武藤美咲さん、佐藤花楓さん。後列左から永山士温さん、真崎弘斗さん、高橋直さん。チームが考案したオリジナルキャラクター「くりまる」も一緒に。

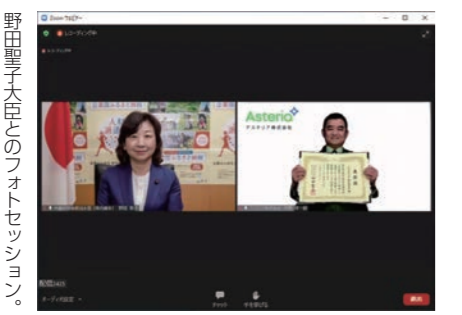
地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）大臣表彰を受賞

当市にご寄付をいただいている アステリア株式会社が受賞！

内閣府では、平成30年度から地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の活用促進を図る一環として、特に顕著な功績を上げ、他の規範になると認められる活動を行った企業などを表彰しています。令和3年度の表彰式が2月10日にオンラインで開催され、平成28年度から当市にご寄付をいただいているアステリア株式会社が、企業部門で大臣表彰を受賞されました。同社の5年間にわたる継続した寄付の実施や、寄付を契機とした当市とのパートナーシップの構築、自社の強みを活かした市職員の体温管理などのアプリの開発・無償提供などの地域貢献



アステリア㈱の平野代表取締役社長による受賞団体プレゼンテーション。



野田聖子大臣とのフォトセッション。

①・② 共通事項
給付される金額／一世帯あたり10万円
※本給付金は、非課税所得となるため、税の申告などは必要ありません。

●一世帯1回限り。また、①・②の重複受給はできません。
●支給対象とならない場合／世帯全員が、住民税が課税されている他の親族などの扶養を受けている（地方税法の規定による青色事業専従者および事業専従者を含む）場合は対象外となります。

仙北市ホームページから詳しい内容の確認や家計急変世帯の対象になる方の申請書類のダウンロードもできます。

詐欺にご注意を！
この給付金を装った特殊詐欺や個人情報搾取にご注意ください。給付金の支給にあたり、ATMの操作をお願いしたり、現金の振り込みを求めめることなどは絶対にありません。

怪しいと思ったら、警察相談専用電話（☎#9110）または、仙北警察署（☎53-2111）にご連絡ください。

防災無線の情報を電話で確認することができます
▶テレドーム（テレホンサービス）
☎0180-991555
※ご利用には通話料がかかります（固定電話はダイヤル通話料、携帯電話は1分50円くらいの通話料）。

防災無線の情報がメールで届きます
▶安全安心メール（登録制メール）
※事前の登録が必要です。詳しくは仙北市ホームページ（http://anshin.city.semboku.akita.jp/lists/）からご確認ください。

白岩城址燈火祭

コロナ収束を願い
花火を打ち上げ

2月5日、白岩小学校グラウンドで花火が打ち上げられ、彩り豊かな輝きが夜空に広がりました。

これは、白岩城址燈火祭を企画する「白岩村おこしプロジェクト」が打ち上げたものです。当初は、白岩城址燈火祭を開催し、白岩城が建っていた館山の参道にかがり火を灯す予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の急拡大の状況を考慮し中止に。花火の打ち上げのみを行いました。

19時から打ち上げられた花火はおよそ100発。降雪もなく、星が見える夜空



夜空に輝く花火に願いを込めて。

に新型コロナウイルス感染症の収束を願い打ち上げられました。

高橋輝彦代表は「第20回記念の白岩城址燈火祭は、新型コロナウイルス感染症拡大により、2年続けて中止にしました。昨年は打ち上げ花火も中止でしたが、今年は白岩小学校グラウンドから『新型コロナウイルスを追い払おう!』との強い思いを込めて、真冬の夜空に打ち上げました。来年こそ記念すべき20回目を盛大に開催することが、プロジェクトS全員の願いです」と話しました。

冬道ではゆとりを持った運転を

滑走事故防止講習会



まだ雪の日は続きそうです。ゆとりを持って安全運転を心がけましょう。

1月25日、冬道での安全運転を学ぶ滑走事故防止講習会が開催されました。これは、仙北警察署が冬道の運転で危険な操作を安全に体験することで、冬道の怖さを実感し、今後の運転に活かしてもらおうと企画したものです。

当日は、地域の高齢者を中心に約15人が参加。国土交通省秋田河川国道事務所角館国道維持出張所の敷地内に積雪路面を再現した特設コースが設置されました。参加者は自家用車を使い、スラローム訓練や急制動訓練などで急ハンドル、急ブレーキ、急加速を伴う操作を体験。冬道は夏道と比べて、ブレーキが作動してから車が停止するまでの距離が大幅に伸びます。「速度がそれほど出ていなくても、夏道と比べてすぐに止まれないことがわかった。改めて冬道の怖さや危険性を理解した」と話す参加者。冬道では思うように操作ができないことに驚いていました。

同署の東海林悟地域・交通課長は「車の性能を過信せずに、車間距離を多くとることや速度を抑えるなどゆとりを持った運転を常に心がけてほしい」と呼びかけました。

地方創生の実現をめざして
企業版ふるさと納税
目録贈呈式



鶴丸宗久秋田支店長（左）から受け取りました。

このたび、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社より、仙北市が「第2期自ら」が拓くまちづくり計画」にもとづき取り組んでいる「移住・定住対策事業」に対して企業版ふるさと納税制度を活用した寄付金をいただきました。

2月2日には同社の鶴丸宗久秋田支店長から田口市長に目録が手渡されました。

鶴丸秋田支店長は「今後も市の役に立つような情報提供やさまざまな施策の提案をしたい」と話しました。

同社とは令和2年11月13日に地域課題の解決に取り組むことで、めざすべき地方創生の実現を目的として地方創生に関する連携協定を締結。いただいた寄付金は移住・定住対策事業に活用します。

仙北市×アステリア株式会社

道路状況をアプリで共有

1月31日、アステリア株式会社（東京都／平野洋一郎代表取締役社長）と仙北市がオンラインで共同記者会見を行い、「道路状況共有アプリ」の運用開始を発表しました。

同社はソフトウェア製品の開発を行う企業で、仙北市とは平成28年にスクワラの保全活動に関する協定を結んでいるほか、毎年企業版ふるさと納税として寄付をいただき、桜の保全活動や観光振興などに関する事業を行っています。

今回発表した「道路状況共有アプリ」は、公共交通である市民バス、デマンド型乗合タクシーの運転者が除雪作業が必要な場所で写真や動画を撮影し、状況説明などの文章を入力。位置情報はスマートフォンGPS機能から緯度・経度のデータが自動的に取得され地図に表示されます。これらを登録すると、市の公共交通・除雪担当者へ一斉通知されるという仕組みです。

これまでは公共交通が豪雪により動けなくなったり、積雪により樹木が垂れ下がり通行ができなくなった際に、運転者から事業所の担当者、市の窓口担当者、除雪担当者へと数多くの電話連絡が発生し、情報共有に時間を要していました。さらには口頭のため、正確な場所、状況を把握することが困難

であるという課題を抱えていました。

このアプリを活用することで、写真や動画から緊急性や詳しい状況を視覚的に把握が可能となったほか、正確な位置が地図で確認できるようになり、迅速な除雪作業につながります。



画面に映る平野代表取締役社長（右）とアプリを操作する田口市長（左）。

記者会見で平野代表取締役社長は「アプリの活用によって自治体と地域の事業者が連携する例は初めて。今後も、ふるさと納税を通じた仙北市への協力、DX（デジタルトランスフォーメーション）に関する支援を続けていきたい」と話し、今後同社との連携によるアプリを活用した事業の展開が期待されます。

田口市長は「冬期間の市民の命と安全を守るうえで、除雪は重要なこと。提供された情報によって適切な除雪指示、効率的な除雪も可能になると考えている。アプリを活用した実績を積んでDXを推し進める」と話しました。

栄光・表彰 ～輝くとき

社会福祉功労者表彰伝達式

2月1日、令和3年度民生児童委員社会福祉功労者表彰の伝達式が角館交流センターで行われました。これは、民生児童委員として長年にわたり社会福祉の増進や地域社会づくりに貢献された功績が認められ表彰されるものです。

厚生労働大臣表彰を受賞した佐藤義直さんは「民生児童委員は社会奉仕の精神を持って常に住民の立場に立つて相談に応じ社会福祉の増進に努めるものとされる。日々、地域の実情を把握する努力をし、地域の方々の手助けを続けてきた結果、このような賞をいただくことができた。今後も社会奉仕の気持ちを忘れることなく、活動していきたい」と受賞者を代表してあいさつしました。



厚生労働大臣表彰を受賞した佐藤義直さん（右）。

長年の功労を称えて

- ▼ 厚生労働大臣表彰
佐藤義直
- ▼ 秋田県知事表彰
佐々木裕子／戸澤一子／入江和子／橋貞子／西宮久子／鈴木重憲／鈴木順子
- ▼ 全国民生委員児童委員連合会会長表彰
千葉寛治／高橋英幸／佐川隆雄／中嶋廣子／吉田慎一／千葉義孝／鈴木妙子／橋本智美／佐藤思公／佐藤一／浅利満子／武藤和子



受賞された皆さん。

第47回（令和3年度）秋田県芸術選奨

Otoを楽しむ会〜古きピアノに樺の アート・プロジェクト〜が ふるさと文化賞（秋田県芸術選奨特別賞）を受賞

このほど行われた第47回（令和3年度）秋田県芸術選奨で「Otoを楽しむ会〜古きピアノに樺のアート・プロジェクト〜」がふるさと文化賞（秋田県芸術選奨特別賞）を受賞しました。県が実施する同表彰は、芸術文化の各分野において活発な創作活動を行い、かつ優秀な作品を発表し、本県の芸術文化の振興に大きく寄与された方々に贈られるものです。

同会は神代小学校改築に伴い廃棄される予定だったランドピアノの音色に惹かれ再生させようと平成21年に発足。募金活動や市出身テノール歌手の故本田武久さんたちによるチャリティコンサートなどで集まった善意により、傷んだ表面に樺細工を施しピアノをよみがえらせました。以後、「樺細工で生まれ変わった奇跡のピアノ」として角館町平福記念美術館や市内の小中学校でコンサートを開催するなど地域文化の発展に貢献しました。



左から Oto を楽しむ会の福田美奈子さん、福田金作さん、田口市長、安藤満里さん、石川操さん、小松美岐さん。

「70年前、当時の神代村と小松小学校のPTAが子どもたちのためにピアノを購入した経緯とその思いを会では大事にしている。当時の思いを伝え、私たち子どもたちの未来のために活動していきたい」と話しました。

今年も桜の季節に「樺細工で生まれ変わった奇跡のピアノコンサート」を7日間開催予定です。詳細については決定次第お知らせします。

【問合せ】Otoを楽しむ会代表 安藤満里 ☎090・2989・2918

第13回秋田県新春書初め大会

西根佳乃子ちゃん（角館こども園・5歳）が 県知事賞を受賞

このほど行われた第13回秋田県新春書初め大会で角館こども園の西根佳乃子ちゃんが県知事賞に輝きました。

同大会には、幼児から大人まで855点の応募があり、審査は県内の書家30人が幼児・小学生、中学生、高校生、大学生・一般の4部門に分かれて実施。見事、佳乃子ちゃんが書いた「ひかり」が栄えある県知事賞を受賞しました。

昨年の夏から書道始めたという佳乃子ちゃん。毎週水曜日に角館交流センターで行われている書道教室「かくのだて墨の会」で腕を磨いています。

賞をもらった時の気持ちを聞くと「とても嬉しかった」と。また「書道をしていて、はねるところが楽しい」と話しました。得意な字は「か」と話す佳乃子ちゃん。



県知事賞に輝いた西根佳乃子ちゃん。

書道の指導にあたる同会の酒井竹泉さんは「まだ小さいが、とても落ち着いて集中して書くことができる。今回の受賞は、子どもらしく字に元気があふれる点で評価されたのでは」と話します。取材に訪れたこの日も、佳乃子ちゃんは小学生のお兄さんお姉さんと一緒に稽古に励んでいました。

同会では現在幼児から大人まで18人が稽古をしています。秋田県書道連盟の会員でもある酒井さんは「書道を日本文化の象徴として世界文化遺産登録する気運が高まっている。書道連盟としても市民の皆さまに書初め大会に参加していただけるよう願っている」と話しました。



一筆ごとに集中して書く教室の皆さん。

各分野の発展に貢献

仙北市 技能功労者表彰

このほど、卓越した技能を有する仙北市技能功労者表彰者の選考会が開催され、2月3日に3人の方々に表彰が行われました。受賞者は、各業界団体などが個人を推薦し、大曲仙北職業訓練協会や仙北市商工会、秋田県仙北建設業協会などで構成する選考委員会を経て決定しました。受賞者は次のとおり。

分野：畳製作業

尾形祐之介さん

（61歳 角館町岩瀬）



高校卒業後、茨城県豊高等職業訓練校へ入校し技能習得。特に寺、神社などで使用する四天紋付拝敷、紋縁畳などを得意としています。昭和56年4月に尾形畳店を継ぎ、平成5年10月には1級技能検定に合格。長年の経験によって培われた技術は業界内から高く評価されています。

平成26年9月11日には「ものづくりマイスター」として認定されており、若年技能者の育成に意欲的に取り組んでいます。大曲仙北畳業組合では、長年にわたり技能部長を務められ、業界団体の発展に大きく貢献されています。

分野：建築大工

草薮芳春さん

（72歳 角館町上菅沢）



昭和40年に角館地域の佐藤作蔵氏に師事し、在来工法技術の習得に努められました。昭和52年11月に2級建築士の資格を取得し、その後独立。平成7年に（有）草薮建築を設立し、代表取締役として現在に至ります。

大小様々な発注を積極的に受け、顧客からの信頼度も高く、技術の高い仕事が評価されています。その技術を伝えるべく、これまで1人のお弟子さんを育てた実績があり、後継者育成に對しても積極的に取り組んでいます。秋田建築労働組合角館支部では、長年にわたり支部長を務めた実績があり、建築業界の発展に貢献されています。

昭和55年4月より、当時の角館町（柳齋藤組）に入社し、土木工法などの技術を習得。その後昭和59年4月に（有）菅原産業の代表取締役役に就任し現在に至ります。旧角館町の町道から現在の仙北市の市道除排雪業務を長年にわたり担われているほか、空き家の解体業務も行っています。

分野：建設重機

菅原誠さん

（60歳 角館町八割）



昭和55年4月より、当時の角館町（柳齋藤組）に入社し、土木工法などの技術を習得。その後昭和59年4月に（有）菅原産業の代表取締役役に就任し現在に至ります。旧角館町の町道から現在の仙北市の市道除排雪業務を長年にわたり担われているほか、空き家の解体業務も行っています。

除排雪業務や解体業務の作業員が年々減少している中で、人材育成のため、自社の従業員などの技術指導にも取り組み、優秀な人材を育てる雪地帯である当地域住民の利便性と安全の確保に貢献されています。

百寿

おめでとーじ いじります

2月1日、藤井六治郎さん（田沢湖卒田）が100歳の誕生日を迎えられ、翌日に自宅でお祝いが行われました。

家族の皆さんが集まり、仙北市からお祝いと花束が贈呈されました。



柏谷市民福祉部長（左）から六治郎さん（前列右）に手渡されました。